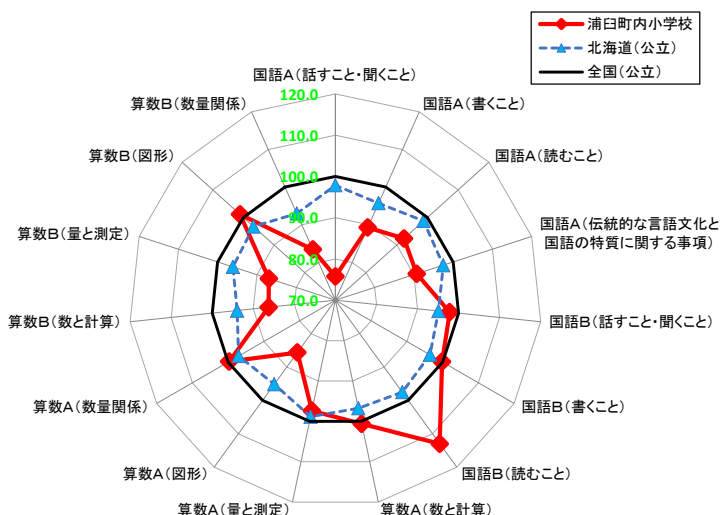


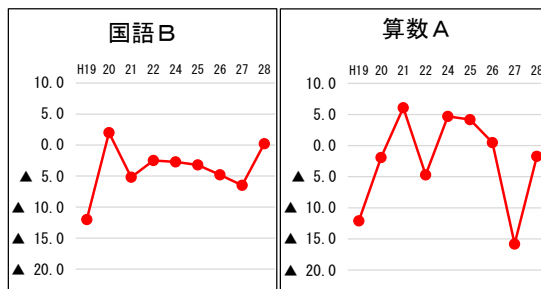
浦臼町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1、児童数:20名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

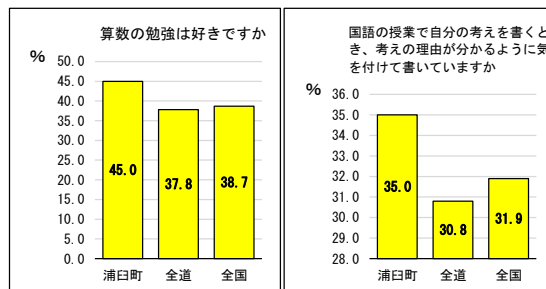


【平均正答率の全国との差の推移】

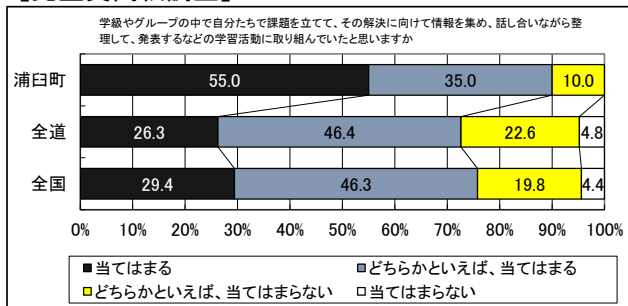


※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

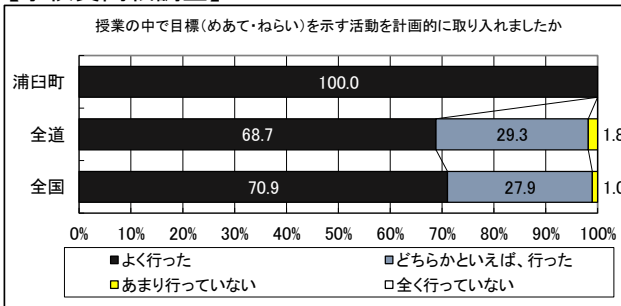
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bでは「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは「数と計算」、算数Bでは「図形」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中で目標を示す活動を計画的に取り入れたり、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表するなどの学習活動を取り入れたことにより、国語では考えの理由が分かるように書く児童が、算数では算数の勉強が好きな児童の割合が増え、国語B「読むこと」、算数A「数と計算」、算数B「図形」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいた」という質問に対して、「当てはまる」と回答した児童の割合が全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れる取組をよく行っている。 	

【浦臼町の学力向上策】

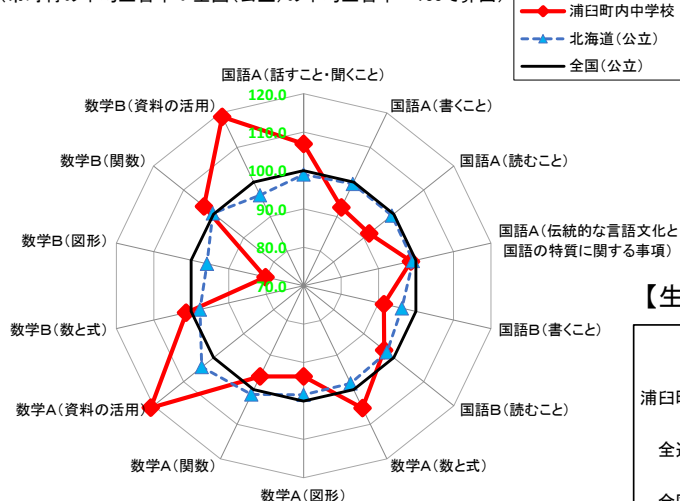
- ◎ ICTの導入に向けた教員による研究会の発足
- ◎ 中学校教師による小学校への乗り入れ授業の実施
- ◎ 長期休業日に、学校サポーターを活用した補足的な学習サポートを実施
- ◎ 町独自事業として、夏休み期間中に「朝活」を実施

浦臼町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:15名)

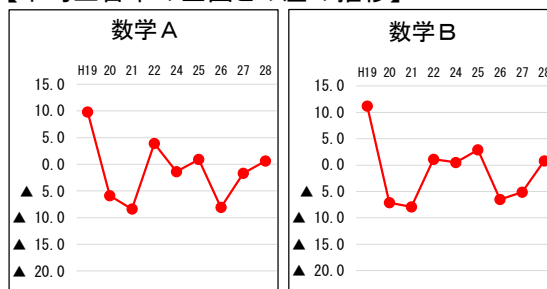
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

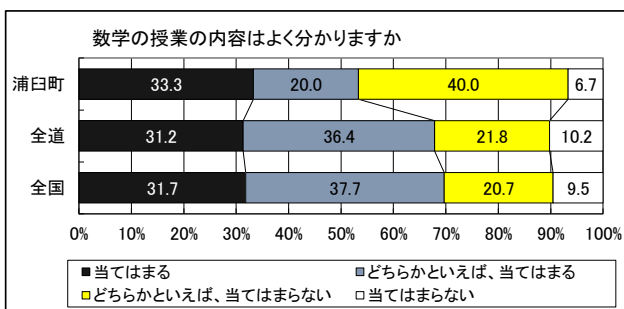


【平均正答率の全国との差の推移】

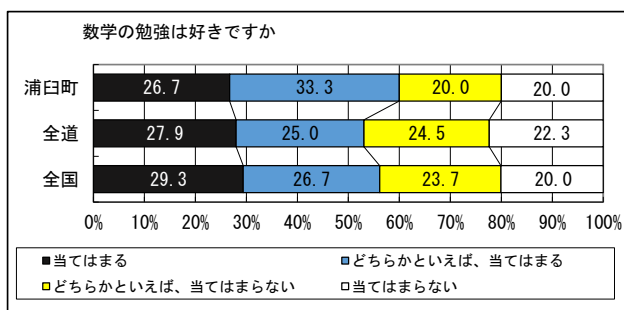
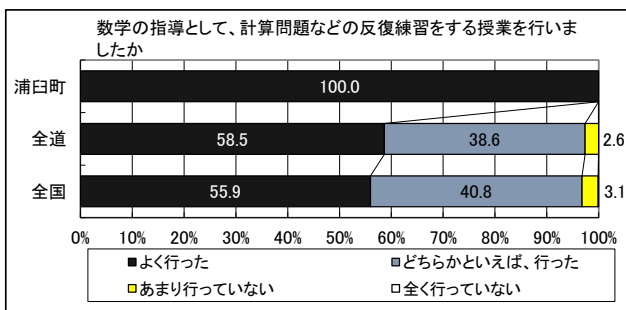


※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは「数と式」、「資料の活用」、数学Bでは「数と式」、「関数」、「資料の活用」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業をよく行った結果、数学の授業の内容がよく分かる生徒が増え、数学Aの「数と式」、「資料の活用」、数学Bの「数と式」、「関数」、「資料の活用」において全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「数学の勉強は好きですか」という質問に対し、「当てはまる・どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率の推移については、ICTの導入に向けた教員による研究会を発足して研修を重ね、授業でICT機器を効果的に活用するようになったことにより、数学の勉強が好きな生徒の割合が増え、数学A・Bで、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業をよく行っている。 	

【浦臼町の学力向上策】

- ◎ ICTの導入に向けた教員による研究会の発足
- ◎ 中学校教師による小学校への乗り入れ授業の実施による中1ギャップの未然防止、小中連携教育の推進